

No.3-1

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 03 - 1

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 30年 6月 27日		
事務事業名 財政管理経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち		課名	財政課		係名	
		6-4 行財政運営の充実したまちをつくる		シート作成者				
	施策	6-4-2 効率的行財政の運営		予算費目	会計	一般		
					款	2		
主要施策	① 健全な財政基盤の確保		項		1			
	② 効果的、効率的な財政運営の推進		目	3				
個別計画名								
住民との関わり				公聴会・審議会・委員会への住民参画				
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	住民		少子化及び高齢化の進展から、税収の伸び悩みや歳出の内の義務的経費の増加により財政は硬直化することが見込まれる。町民が安心して住み続けられるような町政運営を行える、持続可能な健全財政を図る。					
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）								
財政運営事務・・・厳しい財政状況下において、限られた財源を有効に活用するために、予算編成において事業の有効性や優先順位を精査し、より効果的・効率的な予算計上に取り組む。また、財政状況、事業の内容、統一的な基準による財務書類を公表することで予算の透明性を図る。また、行政課題におけるプロジェクトチームを立ち上げ、庁内の横断的な検討についての取り組みを行い、財政健全化を図る。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		地方自治法、地方財政法、東員町財務規則						
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		0		0		14,703		
財源内訳	国庫支出金						0	
	県支出金						0	
	地方債						0	
	その他特定財源						0	
一般財源						1,899		
直接事業費（千円）A		0		0		1,899		
人件費（千円）B		0		0		12,804		
内訳	一般職員（人・千円）		人	0	人	0	1.94 人 12,804	
	臨時職員（人・千円）		人	0	人	0	人 0	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度
					目標	実績	（目標）	（目標）
	①	経常収支比率		%	80	87.1	80	80
	②							
③								
説明		財政構造の弾力性を示す経常収支比率（人件費、扶助費等の経常的経費に、町税等を中心とする経常的収入がどの程度充当されるかにより、財政構造の弾力性を判断する指標、数値が低いほど弾力性が大きいことを示す。）を用いる。本町の経常収支比率は上昇傾向にあり、今年度も類似団体を上回っていることから、財政が硬直化してきている。このため、健全化に取組む必要がある。 経常収支比率 24年度 81.8% 25年度 79.2% 26年度 80.9% 27年度 85.1% 28年度 89.9%						

事業名		財政管理経費		シート作成課		財政課		
一次評価者		財政課長		二次評価者		総務部長		
評価項目の説明	<b>チェック項目</b>	一次	二次	<b>一次の評価又は説明</b>				
	<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	少子高齢化の進展による税収の減少により、今後、財政の硬直化が進むことが見込まれることから、健全財政を維持するためにも、社会情勢の変化を見極め、弾力性のある財政体質を確立します。			
	<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	多様化する住民のニーズと社会経済情勢の変化に対応できる弾力性のある財政体質を確立することは、健全財政を維持することであり、適正な財政管理が必要です。			
	<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	平成30年度当初予算において、義務的経費は前年度比で1.7ポイント増となり、全体の47.7%を占める状況となりました。			
	<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	効率的に運営を行っています。継続して効率化に努めます。			
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>								
少子化、高齢化の進展等による税収の伸び悩みや義務的経費の増加により財政の硬直化が進むことが見込まれる中、多様化する住民のニーズに対応していくためには、行財政改革を推進し、社会経済情勢の変化に対応できる弾力性のある財政体質を確立する必要があります。								
一次評価	<b>評価</b>	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	3	2	4	B	A	
		休・廃止		見直し	継続	D	C	
今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大			
今後の改革・改善目標	社会経済情勢の変化や、本町の人口構成等の変化を考慮して的確に財源を見込むとともに、公共施設の老朽化に伴い増加する施設整備費は、個別施設計画を精査し、単年が過度の財政負担とならないような負担の平準化に努めます。また、補助費等及び人件費の見直しを行い、中期的な財政計画を基にした、効果的な予算編成により、健全な財政運営を図ります。							
二次評価	<b>評価</b>	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	2	2	4	B	A	
		休・廃止		見直し	継続	D	C	
今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大			
コメント	近隣に例のないスピードで急激な高齢化が予想され、財政の硬直化が見込まれる中、重点事業の選別を図り、行政がやるべきことを見極め、安定的な財政運営を目指す必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する			